

面接の場を進展するに於て

- 一、面接者には多少の準備を要する
- 二、其次第として、初人関係を生かして進展する性質を以て、面接者を得る最も大に必要
- 三、面接者の必要する最初の仕度、時、場所、初人関係の準備等として行なう

- ・ (依頼者) 希望する初人の場へ正式接遇
- ・ 細計の隅々に至るまで
- ・ 偵察を通じて依頼者の社会的格標を固定するまで

- ・ 詳細問診を通じて面接の可否を決する
- ・ 重要事項の全てにメスが入るまで
- ・ とうして最終に予めかりたて準備、終結する中止に至るまで

一貫して初人関係の準備の道と

- ・ 踏み付くべき点にする
- ・ 面接者、依頼者の双方の間に、問題に裏切られなくとも、二の意の表へて依頼者になる

面接者として

- 一、用いし者
- 二、注意深く聴く姿勢を崩さず
- 三、自己批判と批判の区別を明かにする
- 四、計画を立てるべき順序を明確にする
- 五、(必要) 時々の質問を要する
- 六、単純明快さと簡潔さを保つ
- 七、面接者の訂正と反論の機会を身に着ける
- 八、面接者の次に保証する所

「面接者として」の最も重要な点は、面接者の態度と姿勢にある。面接者は、依頼者の言葉を聴くだけでなく、その背後にある意図を理解し、必要に応じて質問を要する。また、自己批判と批判の区別を明かにし、計画を立てるべき順序を明確にする必要がある。

精神医学的価値 (サリダ) 終結要約 三十五年八月八日